

## 生きた教材で 表現力アップ

県内をはじめ全国の小学生が使っている教科書を見ると、さまざまところで新聞が登場しています。今までも、何かを調べて新聞にまとめるといった学習はありましたが、今年度からは新聞を使って学ぶ単元が大幅に増えました。



教科書会社によって異なりますが、国語の場合、四年生は「新聞の特徴を知り、新聞を作ってみる」、五年生は「二つの記事を読み比べ、書き手の意図を読み取る」、六年生は「ニュースについての自分の考えをスピーチする」などの学習があります。

社会では、五年生などで新聞社の役割を知ったり、ニュースがどのように報じられているのかを学びます。このほか「概数を新聞などから探す」（四年算数）、「生き物新聞をまとめる」（四年理科）など、あらゆる教科で新聞が取り上げられています。

福島民報社は、思考力、表現力などを養う「生きた教科書」として活用してもらうための紙面作りに取り組んでいます。